

三つ葉しんぶん

「三つ葉しんぶん」は患者さん・ご家族と、三つ葉医師・スタッフの双方向通信です。

お待たせしました！ 三つ葉しんぶんの創刊です。

今年3月『三つ葉だより』の休刊はとても残念です。というお声をいただきました。

あれから5カ月、ようやく新しいニュースレター「三つ葉しんぶん」をお届けできることになりました。そして月刊となります！

この「三つ葉しんぶん」でめざすのは、患者さんやご家族と、三つ葉医師・スタッフの双方向通信です。

「先生たちはどんなことを考えているのですか？」

「三つ葉のスタッフは先生以外にどんな方がいて、どんなお仕事をしてみえますか？ できれば皆さんのコメントがあると、三つ葉がもっと身近な存在に感じられます。」

こうしたご要望も以前からいただいていたので、私たちが日ごろ感じていることをお伝えしたり、患者さんからのご質問にもどんどんお答えしていきたいと思っています。

読者カードをつくりました。

「三つ葉しんぶん」と一緒に今回、「読者カード」(ハガキ)を同封しました。こちらには、在宅療養に関する素朴な疑問・質問、お困りのことなど、私たちに聞いてみたいことを、なんでも書いていただいて構いません。三つ葉に対するご意見、在宅医療や介護に関する想いも歓迎です。

その内容は、この「三つ葉しんぶん」紙面で皆さんと共有する可能性があることを前提とさせていただきます。個別のお返事を希望される場合は、お名前とその旨を書き添えてください。それ以外のお名前のご記入は自由です。

ハガキは、そのまま郵便ポストに投函するか、訪問する医師にお渡しください。

皆さまからのお便りをお待ちしています！

声

医療のことか、介護のことか？

先生に質問したいのですが、医療分野の質問か、介護分野なのか、わからないことがあります。介護のことをお聞きしてもいいですか？

どんなご質問でも、まずは聞いてください。

在宅生活は医療と介護が切り離せない世界です。患者さんご自身で区別するのは難しいときもあります。私たちも介護のことを勉強していますので、わかることはお答えします。また、私たちだけでお答えできないときは、できるだけ、答えられる人をご紹介します。

【雑感コラム】

桜梅桃李 OUBAITOURI

患者さんの人生に想いを馳せる

少し前、4年くらい診させていただいている患者さんの米寿のお祝いにお招きいただきました。親戚が何十人も集まっての会でした。その際、患者さんと奥さんとの50年以上に亘る結婚生活を歌にし、思い出の写真をスライドで紹介しながら、プロの歌手が弾き語りをしました。

その患者さんは、今は寝たきりでお話することもできませんが、お元気だったころのお人柄やご夫婦がどんな人生を歩んでこられたのかを垣間見、皆、感動して涙を流しました。

すべての患者さんの人生の深い意味があると思っています。私たちがお邪魔したときに、「昔はこ

んな人だったんですよ」とお話しただくと、より患者さんへの親近感がわいて、ご家族がどんな想いで介護をされているのか理解できて有り難いです。(船木・医師)



ここでは医師やスタッフの日々の想い・雑感を時々綴りたいと思います。タイトルは、鎌倉時代の僧・日蓮の「桜梅桃李の己己の当体を改めずして無作三身と開見す」という言葉から拝借しました。桜、梅、桃、李(スモモ)ともに、独自の美しい花を咲かせるから、それぞれの特徴を改めることなく、生かしていくとの意味です。一人ひとりの患者さんの人生を敬うという、私たちの気持ちを表しています。

掲示板

●満足度調査へのご協力ありがとうございました。

今年の春に実施しました患者さん満足度調査は、159件のお返事をいただきました。ご協力、本当にありがとうございました。

総合満足度では、非常に高い評価をいただきましたが、この結果に甘んずることなく、いただいたお声をしっかり受け止め、診療の質をさらに高めていきたいと思っています。

なお、ご意見やご質問は、この「三つ葉しんぶん」でも少しずつ取り上げていきたいと思っています。



今月のつづやき 最近、うれしかったこと



ほとんど表情が変わらなかった認知症の患者さんがいらっしゃいましたが、片方の耳は聞こえているとうかがい、そちら側からお話するようにしたら、最近微笑まれるようになりました。(神谷・医師)



主介護者である方が倒れて入院され、お一人になった患者さんも入院されました。施設も探しているとお聞きしていたので、もうお会いできないかと思っていましたが、お二人とも退院され、また同じように、ご自宅に訪問させていただけることになり、うれしくて涙が出ました。(小泉・診療サポート)

医療法人 三つ葉
三つ葉在宅クリニック 山中
〒466-0828 名古屋市昭和区山中町1-30
TEL 052-752-2201 FAX 052-752-2556

三つ葉在宅クリニック 栄
〒461-0005 名古屋市東区東桜1-1-6
住友商事名古屋ビル 8F
TEL 052-950-2671 TEL 052-950-2672
tsubuyaki@mitsuba-clinic.jp



■ 私たちの理念
最高の在宅サービスを提供し
安心して暮らせる社会を創造する

三つ葉在宅クリニック

■ 安心を支えるために…

いつでも
お応えします
患者さんが
中心です
地域で
支えます

暑いときは、がまんせずにエアコンを。

立秋は過ぎましたが、まだまだ暑い日が続きますね。熱中症や脱水で、緊急往診に伺うことも少なくありません。あせもだらけになっている患者さんにお会いすると、「たいへん!」と、とても心配になります。



節電はほどほどにして、温度と湿度を調整してくださいね。



(神谷・医師)

三つ葉先生の今月のひとこと

エアコン付けや〜!
三つ葉の患者さんは
節電せんでいいよ〜!



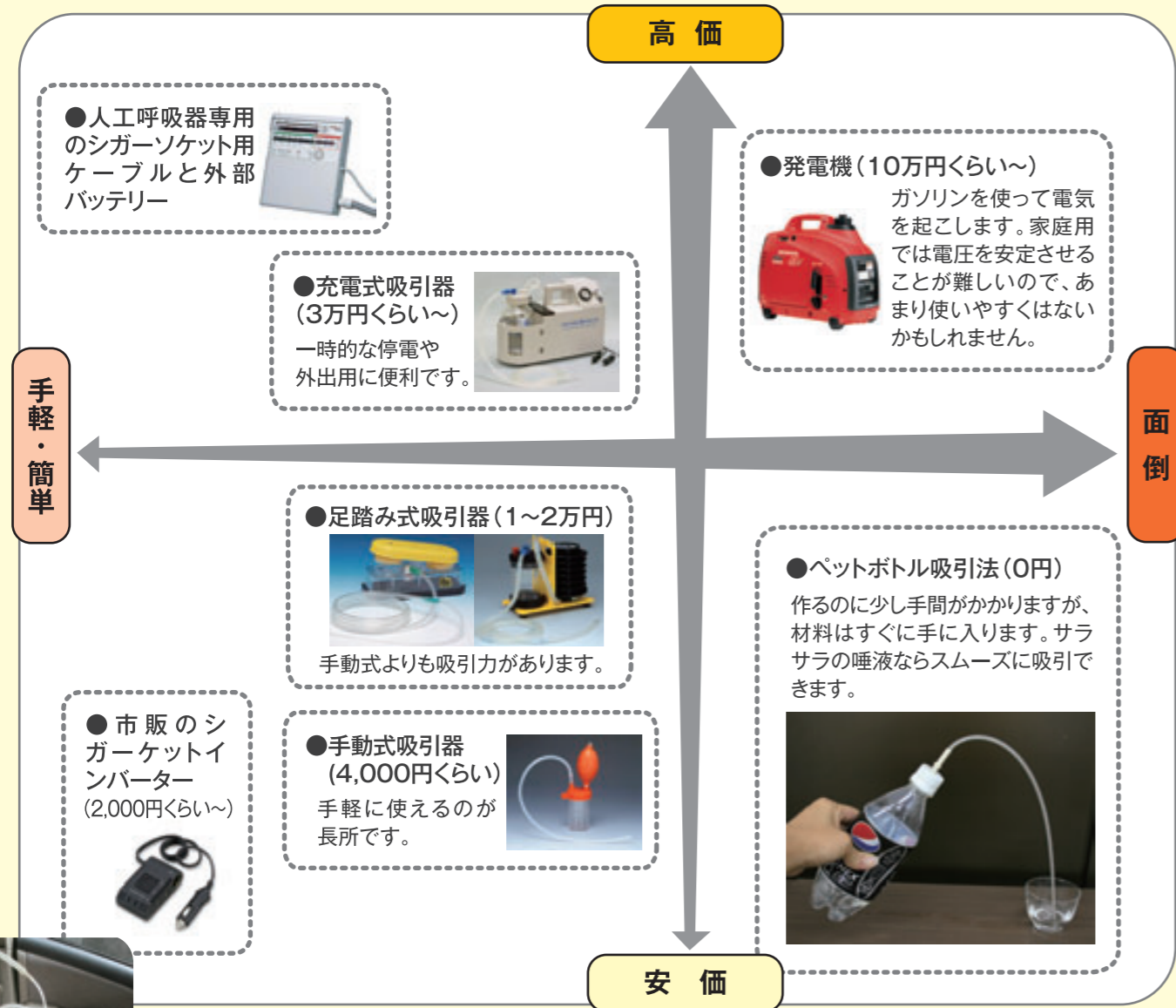
停電時の呼吸器・吸引器は どうなるのですか？



震災後の停電や計画停電の影響で、在宅で吸引器や呼吸器を使っている人が大変困ったという話を聞きました。とても心配です。いざというとき、どうしたらいいでしょうか。

A

あの震災以来、何人かの患者さんから質問を受けました。人工呼吸器や持続吸引器は、呼吸を維持するための命綱ですから不安になりますね。東北の被災地でも、在宅医療の先生たちがいろいろ試しました。使いやすさや価格、リスクなど、それぞれに特徴があります。患者さんの状態や介護力に応じて、準備をしていきましょう。



必ず、エンジンをかけてから、吸引器・呼吸器の電源を入れてください。
エンジンをかける時に一番電圧が不安定になります。特に人工呼吸器は精密機器なので、専用のケーブルやバッテリーを使うのが望ましいとされていますが、こちらも緊急時には知っておくと良い方法です。

家族会レポート

7月の家族会より

7月12日(火)に家族会を開催しました。今回のご参加は2名でした。

初めてご参加のAさんは、脳梗塞の後遺症で、重度の言語障害をお持ちのご家族を介護されています。「失語症のリハビリを行えるST(言語聴覚士)がいなくなりました。高次脳機能障害についての理解・ノウハウをもった介護施設や職員が少なく、安心して預けられるところが少ない」という悩みを語ってくださいました。

ときどきご参加のBさんは、お母様が長く入院されていて、最近、老人保健施設に移りました。「病院では一日中パジャマで過ごし、食事もベッド上だったけれど、今は毎日着替え、食堂で食事をしている。ちゃんと生活をしている感じがして嬉しい」とお話しくださいました。

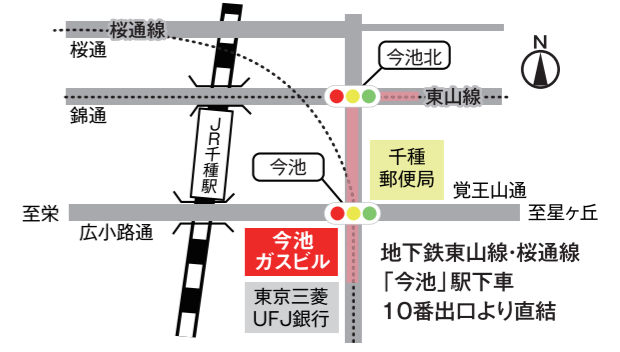
今回、施設を探すに当たって、非常にご苦労されたそうですが、『特別養護老人ホーム』と『老人保健施設』の違いもわかるようになったとおっしゃっていました。介護付きの施設にもいろいろな種類があって、わかりにくいですね。(豆知識を参照)

●家族会へのお誘い

家族会は、「他のお宅はどんな介護をしているのか知りたい」「介護の悩みを聞いてほしい」……。同じ立場、似たような体験を持つご家族同士が、語り合う場です。お気軽にご参加ください。

次回は、9月9日(金)に開催します！

- 時間: 13:30~15:30
- 会場: 今池ガスビル 7階 D会議室
- 定員: 20名(先着順)
- 参加費: 無料
- お問い合わせ・お申し込み: お電話またはFAXにて。
電話:052-950-2671 FAX:052-950-2672
担当:医療ソーシャルワーカー 新田(にった)



三つ葉のスタッフ紹介

こんにちは！ ソーシャルワーカーの鳥居です。初診のときにお目にかかった方も多いのですが、覚えてくださっていると嬉しいです。三つ葉の診療が始まって、患者さんやご家族から「これで安心して自宅で暮らせます」というお言葉をいただくほど嬉しいものはありません。



●医療ソーシャルワーカー(MSW)は何をしているの？

三つ葉が新しい患者さんをお引き受けする際に、病院やケアマネジャーさんなど、すでに患者さんに関わっている方から、ご病気のことや介護の状況をお聞きし、初めての訪問で医師の診療がスムーズに始まるように準備を整えます。

また在宅の患者さんが病院での受診や検査を必要とされる際には、医師の指示のもと、患者さんの状態をお伝えして適切な受診ができるように手配します。病院や地域と三つ葉在宅クリニックの「情報連携窓口」が私たちの役割です。

在宅医療の豆知識

特養と老健

●受けられる医療の違い

特別養護老人ホーム(特養)は「介護老人福祉施設」、老人保健施設(老健)は「介護老人保健施設」という種類になります。どちらも高齢で介護が必要な方を受け入れる施設です。

特養は日常生活の介助が中心で、要介護度の高い方や認知症の症状が重い方から優先的に支えていく施設です。医師は嘱託医が定期的に訪問し、がん末期の場合には、三つ葉のようなクリニックからの訪問診療も受けることができます。

一方、老健は入院と在宅の中間的な存在で、長い入院生活の後、在宅へ戻ることを可能にするためのリハビリテーションに力を入れていること、そして医師が常駐し、医療サービスも受けられることが特徴です。ただし、老健入所中に受けられる医療サービスは、慢性期の管理に限定されていて、がん治療など特別な医療を受けている方は、入れません。

できるかぎり長く在宅で、というのが多くの方が望むことですが、施設の特徴を知って、いざというときに使い分けられるといいですね。